

新ルール レッドペナルティエリア

2019年のルール改正により、コース内にある池や小川など水のある場所とその周辺のエリアを意味する「ウォーターハザード」に変わり、「ペナルティエリア (PA)」という言葉が誕生しました。新ルールでは今までの「ウォーターハザード」の概念にとらわれることなく、プレーすることが危険なエリアやボール探しに時間がかかることが予想されるようなエリアは「ペナルティエリア」に指定することができるようになりました。

これに伴い、静岡カントリーグループ各コースにおきましても、スムーズな進行とペナルティの軽減を目的として、コースの外周 (OB) を除き、コース内に設定していた「OBエリア」を極力減らし、「レッドペナルティエリア (RPA)」として設定させていただきます。

